



平成21年2月9日

各位

上場会社名 株式会社 桑山
 代表者 代表取締役社長 相原信雄
 (コード番号 7889)
 問合せ先責任者 経理部長 沼田直樹
 (TEL 03-3835-7231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,600	150	60	200	20.05
今回発表予想 (B)	24,700	1,210	1,320	2,200	221.65
増減額 (B-A)	900	1,360	1,380	2,000	
増減率 (%)	3.5				
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	27,733	263	89	297	29.83

平成21年3月期通期個別業績予想値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	80	20	80	8.02
今回発表予想 (B)	20,600	1,350	1,420	2,090	209.62
増減額 (B-A)	900	1,430	1,440	2,010	
増減率 (%)	4.2				
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	24,146	227	95	244	24.56

修正の理由

世界的な金融危機は实体经济の減速へと拡大、我が国の宝飾品市場においても、最重要期のクリスマス商戦で大幅な前年割れの事態を招き、当社グループにおきましても第3四半期に入り、売上の低下が生じました。

また、貴金属素材価格の下落は第3四半期も歯止めが掛からず、同期間中の売上総利益に505百万の差損を生じる結果となりました。さらに第4四半期でも貴金属素材価格の回復が見込みにくく、引き続き差損発生と期末での棚卸資産の評価損の発生を予測しております。

販売費及び一般管理費においては、売上低下の長期化懸念への対策として新規事業育成強化に向け販売促進費を増強し、一方で市場環境の悪化への対策として得意先の与信管理強化を進める最中、民事再生申立てをした得意先の回収懸念債権42百万円が発生したことや、事業整理の可能性のある顧客等の売掛債権に対して回収可能性を精査し355百万円貸倒引当を計上し販売費及び一般管理費が増加する見込みです。

この結果、売上総利益の減少及び販売費及び一般管理費の増加により、連結業績予想において営業利益1,360百万円並びに経常利益1,380百万円、個別業績予想にて営業利益1,430百万円、経常利益1,440百万円の減少を予想しております。

さらに株式市場の低迷による保有有価証券の評価損が50百万発生、同相場の期中での回復は厳しい状況と予想され、期末での評価損発生を見込んでおります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上